



シリーズ①
大山町家庭学習のすすめ!

大山中学校レポート! 家庭学習の習慣化に向けて

家庭学習強化月間の取組

大山中学校では、全国学力・学習状況調査や標準学力調査の質問紙から、家庭学習の時間が全国や鳥取県の平均よりかなり少ないという結果が出ました。その結果を受けて、平成22年度から「学習の見通しを立てて予習をしたり、学習を振り返って復習をしたりする家庭での学習習慣をつけること」によって、学力の向上を図る」ことを目的に、家庭と連携しながら次のような家庭学習強化月間の取り組みを年3回（5月、10月、2月）行っています。

① 1か月間、家庭での学習計画を立て、家庭での学習時間と学習内容を「毎日の記録」に書き、担任に提出する。

② 家庭学習強化月間終了後、1か月の家庭学習の合計時間を「毎日の記録」に書く。

③ 自己評価を行うとともに、保護者からの評価をもらう。

（家庭学習強化月間終了後、各学級の1日の家庭学習平均時間や自己評価、保護者からの評価を学校便りで発信しています。）

談会で、作成の意図や家庭学習の内容と方法について保護者へ説明を行いました。また、1年生には、4月当初の宿泊研修の中で使用し、中学校での家庭学習の内容と方法について指導しました。

大山町の小・中学校長・教務主任等で構成する大山町教育振興会評議員会においても、各学校における「家庭学習の手引き」の活用方法や今後の活用計画についての情報交換や研究協議を行いました。

家庭学習の習慣化にむけて小・中学校が連携して取り組むことにより、今まで以上に家庭学習の習慣化を推進していくと考えています。

今年度は大山町教育委員会・大山町教育振興会が作成した「家庭学習の手引き」をもとに、PTA総会や学年懇

談会、作成の意図や家庭学習の内容と方法について保護者へ説明を行いました。また、1年生には、4月当初の宿泊研修の中で使用し、中学校での家庭学習の内容と方法について指導しました。

大山町の小・中学校長・教務主任等で構成する大山町教育振興会評議員会においても、各学校における「家庭学習の手引き」の活用方法や今後の活用計画についての情報交換や研究協議を行いました。

家庭学習の習慣化にむけて小・中学校が連携して取り組むことにより、今まで以上に家庭学習の習慣化を推進していくと考えています。



▶「家庭学習強化月間」のポスターは、学校のいろいろな場所に掲示しています

【生徒の感想】

○1・2年生の時は、月に合計3000分程度だったが、今回初めて、4500分やることができた。しかし、目標であった1日3時間を達成できる日は少なかった。どこかに甘えている自分が

いることを痛感した。自分に厳しく、これからも着実に学習時間を増やしていきたい。

【保護者の感想】

○中学校生活が始まり、何もかも初めてのことで本人なりに一生懸命頑張っていたようです。家庭学習でも自分で工夫をして学ぼうという姿勢が見られ、やはり小学校生活とは大きく変わり、成長しているように思え、頼もしく感じました。

○2年生になって、勉強も難しくなり、学習時間が自然と増えたように思います。テスト前の部活動停止中は特に頑張っていたように思いました。勉強はどれくらい時間をしたのかも大切ですが、集中して中身の勉強をしてもらいたいと考えています。

自己評価と保護者の評価結果

■大変頑張っていた □まあまあ頑張っていた □あまり頑張っていない □まったく頑張らなかった

